

# 『安全・安心』をサポート、暮らしを守るまちづくりを目指して。

## 開局のあいさつ



亀岡市長  
栗山 正隆

亀岡市では、セーフコミュニティの理念のもと、市民と行政がパートナーシップによって防災・減災対策に取り組み、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めています。

近年の大災害や豪雨災害の教訓から、土砂災害対策や孤立集落対策などの必要性が高まっていますが、こうした課題に対応するため、このたび、従来のアナログ方式の地域防災行政無線を高機能かつ利便性の高いデジタル方式へ移行し、新たに「亀岡市デジタル移動通信システム」として整備いたしました。

本デジタル移動通信システムは、病院・警察・消防などの防災関係機関、自治会や小中学校などの避難所、また、電気・ガス・水道などのライフライン関係機関に無線機を配備し、大規模災害時における迅速な情報収集を行うことにより、「安全・安心のまちづくり」推進に、より一層効果を発揮するものと期待をいたしているところでございます。

今後においても、本システムを十分に活用できる防災体制を維持・向上することによって、市民の皆さまに安全で安心できる生活を送っていただけるよう努めて参ります。

平成23年3月

## システム概要

亀岡市デジタル移動通信システムでは、市役所6階に統制局を設置し、災害時において市役所（災害対策本部）と災害時に情報の収集伝達が必要となる防災関係機関（警察・消防等）、生活関連機関（電気・ガス・水道・鉄道等）、避難所（自治会・小中学校等）及び病院等との有効な通信手段を確立するシステムです。

本システムでは音声通信のほか、防災対策上必要となる様々な情報データや画像の送受信の手段としても整備しています。

電波を利用し情報伝達を行うシステムであることから、災害時による通信線の断線がなく、災害時における情報伝達システムとして大きな威力を発揮します。

デジタル化により、高音質な複信通信（携帯電話と同じように同時通信）が可能となりました。

市役所の電話交換機に接続することによって、市役所や各出先の内線電話への通話が可能となりました。

避難所にデータ伝送端末を導入したことにより、避難者情報や緊急物資情報等を効率的に市役所に伝送することが可能となりました。

全国瞬時警報システム（J-ALERT）も併せて導入し、緊急地震速報や弾道ミサイル情報といった対処に時間的余裕がない事態が発生した場合に、衛星通信を用いて消防庁から直接受信し、デジタル移動通信システムを自動起動し瞬時に伝達することができます。



## 竜ヶ尾山中継局

市内の各無線機から送られてきた電波を中継し、送り先へ電波を送信したり、市役所の統制局へ専用回線により送信しています。



## 東別院町簡易中継局

竜ヶ尾山中継局から送られてきた電波を再度中継し、東別院町内の避難所に向けて送信しています。



## 統制局設備



統制局（統制台、データ伝送、防災拠点情報収集等）  
一斉放送、統制通信、一般通信システム全般の通信を統制します。

## 災害情報データ伝送システム

半固定型無線機 データ伝送端末装置



災害情報データ伝送システム  
各避難所より避難者や要援護者、不足物資等の情報を、携帯型や半固定型無線機から市役所にデータ伝送ができます。